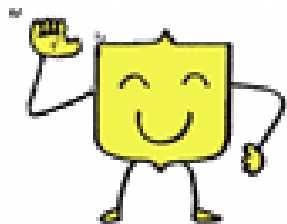


# 令和4年度 学校自己評価アンケートより



# 今年度のアンケート

- ・保護者がiPadを持ち帰り、オンラインで実施  
(一部、環境により紙媒体提出分を再入力)
- ・校内学校自己評価委員会で質問項目の検討、  
文章表現の修正、質問項目の精選
  - 保護者 25項目→ 22項目
  - 教職員 26項目→ 24項目
- ・保護者と教職員の比較できる質問・・・22項目
- ・学校経営目標との関連を明確に
- ・教職員の項目に「ワークライフバランス」に関する項目を追加

# 今年度の回答率

## 【教職員回答率】

全体・・・ 119人中 117人 98.3%

## 【保護者回答率】

全体・・・ 234人中 218人 93.1%

Web回答・・・ 234人中 172人 78.9%

◎保護者回収率 93.1%

(参考: H29:77.9%→H30:82.0%  
→R1:85.5% →R2:86.4%  
→R3:93.3%)

昨年度Web回答を導入し、  
回収率は非常に上昇した  
自由記述回答も増加

# 結果の考察

- 全ての項目で、「1 よくあてはまる 2 ややあてはまる」が90%以上
- 「3 ややあてはまらない 4 あてはまらない」があった項目について、分析し考察
- 保護者と教職員の回答を比較し、開きがあるものについて分析し、考察
- 自由記述について考察し、回答を発表

# 回答の特徴

## 保護者

- 全ての項目で「1 よくあてはまる 2 ややあてはまる」の高評価が90%以上。
- 昨年度と比較して高評価の項目は増加(21項目中17項目)。そのうち、4項目は5%以上増加。
- 「4 全くあてはまらない」は減少。
- 自由記述が30件(昨年度は40件、一昨年度は8件。)

## 教職員

- 21項目中17項目で「1 よくあてはまる 2 ややあてはまる」の高評価が90%以上。
- 昨年度と比較して高評価の項目は増加(22項目中20項目)。そのうち、6月項目は5%以上増加。
- 「4 全くあてはまらない」は減少。
- 自由記述が20件(昨年度は29件、一昨年度は7件。)

# 昨年度比で高い項目

## 保護者

1. 学校生活の充実「楽しく学校生活を送っていると感じる」(+7.1%)
3. 安全に配慮した施設設備(+5.8%)
11. 地域とつながる学習の機会の設定(+7.5%)
21. 「人と関わる力」の育成(+5.2%)

## 教職員

6. 児童生徒への適切な関わり方(+6%)
11. 地域とつながる学習の機会の設定(+7.9%)
16. 合理的配慮の共有(+5.2%)
18. 「個別の指導計画」への評価、課題についての記載(+9%)

# 特に評価の高かった項目

## 保護者

- 3. 安全に配慮した施設設備  
(99.6%)
- 7. 個人情報の保護  
(99.6%)
- 8. 教職員の保護者への対応  
(99.1%)
- 17. 「個別の指導計画」の目標設定(100%)
- 18. 「個別の指導計画」への評価、課題についての記載(99.1%)

## 教職員

- 1. 学校生活の充実  
(99.2%)
- 2. 広報活動の充実  
(98.3%)
- 7. 個人情報の保護  
(98.3%)
- 8. 教職員の保護者への適切な対応(100%)
- 9. 児童生徒の変化に応じた誠意ある対応(99.2%)



# 評価の低かった項目

## 保護者

1. 学校生活の充実  
(94.6%) ★
11. 地域とつながる学習の  
機会の設定(94.6%)★
13. 関係機関との連携  
(93.7%)
21. 「人と関わる力」の育成  
(94.6%) ★

★の項目は、昨年度比で高くなっている項目。今後もさらに課題として取り組んでいく。

## 教職員

3. 安全に配慮した施設設備  
(92.4%)
12. 文化・芸術・自然に触れる機会(76.5%)
18. 「個別の指導計画」への  
評価、課題についての記載(93.3%) ★
22. 学年間・学部間移行時の  
引き継ぎ(85.7%)
24. ワークライフバランスの  
充実(87.4%)

# 保護者と教職員の回答に差があった項目

## 1. 学校生活の充実

(保護者94.6% 教職員99.2% ▲4.6%)

## 3. 安全に配慮した施設設備

(保護者99.6% 教職員92.4% 7.2%)

## 12. 文化・芸術・自然に触れる機会

(保護者90.9% 教職員76.5% 19%)

## 18. 「個別の指導計画」への記載

(保護者99.1% 教職員93.3% 5.8%)

## 22. 学年間・学部間移行時の引き継ぎ

(保護者97.8% 教職員85.7% 12.1%)

# 保護者の意見から

もっとこうしたら・・・

- いつも親身になって考えて下さり、本当に感謝しています。
- 参観日、発表会で成長や授業風景が見られるのが嬉しいです。
- 駅での販売(キャリア教育フェア)はできてよかったです。
- 先生方にはとてもお世話になっており、感謝しかありません。「厳しく」は今度のことを思ってください卒業後のことを考えて接していただいてありがたいと思います。

# 保護者の意見から

もっとこうしたら・・・

## 【交流及び共同学習の充実】

- ・ コロナ禍で難しいとは思いますが、宿泊研修の実施と、居住地交流の回数を増やしていただけると嬉しいです。
- ・ 居住地交流の機会を増やしてほしい。健常者の理解も増えると思うのです。

## 【行事の充実】

- ・ コロナ禍ですが、こどもたちの経験やまなびの時期は、今しかありません。精神面や身体面への影響もあるので、あまり簡素化、短縮せず、日々の活動や行事などは引き続き取り組んでほしい。
- ・ コロナ禍で行事などが減り、経験値が上がらないことが残念です。

## 【情報提供の充実】

- ・ 卒業後、就労について先生と気軽に話せる機会があると嬉しいです。

## 【その他】

- ・ 朝の片付け、休憩時間の過ごし方、給食風景など、参観日の日に自由参観とかで見られると嬉しいです。
- ・ 学校での過ごし方はよくわからないので、自由参観週間をもうけてほしい。
- ・ 教員の方の負担がかなり大きいのかなと思うので、サポートする方がもう少し増えれば、学校全体が今よりもっと安定して運営出来るのではと思います。

# 保護者の意見から

気になること・・・

## 【引き継ぎ】

- ・ 子どもの情報は学年間で共有されていないように感じる。

## 【教員の態度】

- ・ 名前を呼び捨てで子どもを呼ぶのが気になります。子どもも真似して友だちを呼び捨てで呼ぶことがあり、注意するが先生が言っていると言われると何も言えなくなる。
- ・ 一定の生徒との距離感が必要ですが、一部教員にもっと親身になって頂けると良いな、という感じの方はいます。
- ・ 去年警報が出て学校に迎えに行くと、担任がスマホで何かしていた。

## 【その他】

- ・ PTAについて、コロナの関係であまり集合する事がない上、あったとしても内容がわからない講演があり、休んでまで行く必要性がない。
- ・ 1学期ハブラシとコップを家に持ち帰った際、カビだらけだった。

# 保護者の声への対応

・コロナ禍ですが、子どもたちの経験や学びの時期は、今しかありません。精神面や身体面への影響もあるので、あまり簡素化、短縮せず、日々の活動や行事などは引き続き取り組んでほしい。

・卒業後、就労について先生と気軽に話せる機会があると嬉しいです。

→支援学校に通う児童生徒にとって、座学だけでなく、本物を見たり、触れ合ったりする生活経験や体験は、大切な学習機会であると考えています。コロナの感染拡大状況を見ながら、元に戻すことや、新しい活動を構築することに取り組んでいきます。

→PTA主催の「進路説明会」や、「卒業生の保護者を囲む会」では、高等部の進路指導主事や卒業生の保護者から卒業後の生活や就労等についての情報発信をしています。卒業後のことについても、ご相談があれば担任にお伝えいただければ進路指導主事につなぐこともできます。

# 保護者の声への対応

- ・朝の片付け、休憩時間の過ごし方  
給食風景など、自由参観とかで見られると嬉しいです。
- ・学校での過ごし方がよくわからないので、自由参観週間を設けてほしい。

- ・居住地交流の機会を増やしてほしい。健常者の理解も増えると思うのです。

→学校での様子は連絡帳や通信で詳しくお伝えするようにしていますが、児童生徒の支援を優先し、連絡帳の記入が十分でない日もあります。活動の様子は、通信やフェイスブックでお伝えしていきます。自由参観週間については、メリットデメリット両面について、検討していきます。具体的に「この場面が見たい」という場面があればお知らせください。

→居住地校交流は、本校の児童生徒にとっても相手校の児童生徒にとっても「地域で共に学び共に育つ」大切な学習の場面であると考えています。その一方で、拡大するためには教員が引率で学校を離れるために、校内体制や相手校の受け入れ体制等の課題を検討していく必要があります。

# 保護者の声への対応

・子どもの情報は学年間で共有されていないように感じる。

・名前を呼び捨てで子供を呼ぶのが気になります。子供も真似して友だちを呼び捨てで呼ぶことがあり、注意するが先生が言っていると言われると何も言えなくなる。

・去年警報が出て学校に迎えに行くと、担任がスマホで何かしていた。

→学年、学部の移行時には、旧担任と新担任の間で引き継ぎのための時間を設定したり、個人ファイルに記録を残したりして、支援の継続の充実に努めていますが、発達段階に伴って支援の方法は変わってきます。十分でないと感じられた場合は、その都度担任にお知らせください。

→教員の不適切な言動や、誤解を招く振る舞いについての御意見については、深刻に受け止め、全教職員に対して、コンプライアンス研修を行いました。本校の児童生徒にとって、教職員の言動がモデルとなることや人権意識の向上について、改めて確認することができ、研修後は、教員間でも話題に取り上げる場面もあり、自らの振る舞いを振り返る機会となりました。